

2016年度AED訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2018年度分)

|     |            |
|-----|------------|
| 団体名 | 北区救急ボランティア |
|-----|------------|



私たち「北区救急ボランティア」の活動は、阪神淡路大震災の教訓から始まりました。阪神淡路大震災では、救助された人の8割以上が近隣住民によって助けられました。消防、警察、自衛隊など公的機関による救助活動には限界があることが分かり、近隣住民による助け合いが重要であると再認識されました。

このため、神戸市では、指導の資格を持った一般市民が一般市民に心肺蘇生法を指導しています。一般的には健常者を対象にしていますが、赤ちゃん連れのお母さん、在日外国人、障害者からも心肺蘇生法を体験したい、との要望があることを知りました。

できるだけ多くの方に体験していただきたいので、それぞれの対象者に理解していただけるよう機材、教材を工夫して体験会を行っています。

聴覚障害者に体験してもらうためには、実際に体験していただいた方からの意見を反映した教材になるよう工夫を重ねています。